

日本学術会議 健康・生活科学委員会
生活者視点で健康と暮らしの課題を検討する家政学分会
第26期第5回議事要旨

日時 令和6年12月13日(金)19:00~20:00

場所 ビデオ会議(Zoom)

出席者: 杉山久仁子委員長 守随香副委員長 阿部栄子委員 大藪千穂委員

小川宣子委員 佐藤裕紀子委員 宮崎陽子委員 宮野道雄委員

欠席者: 池田彩子委員 重川純子委員

資料1-1 第26期第4回生活者視点で健康と暮らしの課題を検討する家政学分会議事要旨案(委員用)

資料1-2 第26期第4回生活者視点で健康と暮らしの課題を検討する家政学分会議事要旨案(公開用)

資料2 第26期の活動について

議題

1. 議事要旨案の確認(杉山委員長/佐藤委員) 資料1-1,1-2

第26期第4回生活者視点で健康と暮らしの課題を検討する家政学分会議事要旨案を確認し、資料1-1については、語句の修正をもって了承された。

2. 第26期の活動について(杉山委員長) 資料2

委員長より、第26期の活動の具体的な方向性についての説明がなされ、その内容について審議した。

第26期は、第25期の「報告」で検討した子育て支援について、家政学の視点から包括的な支援の在り方を検討する①乳児家庭全戸訪問事業の拡充と、②生涯学習の在り方について取り組むことについて意見が交わされ、その基本的な方向性について了承された。

生活科学系コンソーシアム主催の第13回シンポジウム「子育てと子どもの育ちを支援する社会を実現するための課題について考える」は、子育て支援の現状に対する生活科学的課題を共通理解する場であること、今後の活動を展開するにあたっては、広く発信するために学術会議のシンポジウム開催を見据える方向性であることが確認された。

3. その他

次回会議:1月末から2月を予定する。

以上